

(特非) Little Bees International

国連生物多様性の10年・愛知目標(1・2・5・14・15)の達成を目指したナイロビ河流域の河川敷及びコロゴッチョスラムを中心に
した生物多様性保全のための総合環境保全活動(ケニア共和国)

活動地域  ケニア

ひろげる助成

2年目

実践

放置廃棄物の量 **20%減少**

リサイクル量 **20%増加**

今年度計画の達成度 **80%**

目標達成度 **65%**



廃棄物マネジメント活動

活動内容と成果

- ナイロビ川河川敷の生態系の保全と回復、グリーンベルト活動(植樹約1,350本。二酸化炭素吸収量約2.1t向上)
- 貧困層及び弱者のニーズを考慮した生物多様性促進(養蜂・ノウサギの育成事業。リサイクル事業)
- “Mottainai”環境セミナー・環境教育(住民参加は昨年より延べ約1,000人。鹿児島県大崎町の事例を基に廃棄物マネジメントテキストの作成と活用)
- 廃棄物回収活動(プラスチックの分別。ごみの総量20%以上減少)
- 国際的議論(TICADアフリカ開発会議公式イベント主催)



リサイクルに回収されたプラスチックゴミ

課題

都市比較レポートの環境分野ワーストのナイロビのゴミ捨て場から派生したコロゴッチョスラム及びナイロビ川は環境劣化が著しく、社会・環境的脆弱性は大きな課題である。

目標

国連生物多様性の10年・愛知目標の達成を目指し、特に貧困層及び弱者のニーズを考慮した健康、生活、福利に貢献できる地域の生物多様性の保全と回復の実現を目指す。



今後の
展望

住民参加型の廃棄物マネジメント活動の継続により、コミュニティの廃棄物量も減少しプラスチックの回収も進んでいる。ナイロビ河川敷の緑地化率も向上しているが、環境モデル事業を目指しスケールアップさせたい。

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

地域住民の資源としての廃棄物に対する意識の改善、プラスチックゴミの分別の習慣化が根付くまでに時間がかかっている。

■ 工夫した点

分別・リサイクルの大切さを啓発するため鹿児島県大崎町の事例を基に教本を現地の環境専門家と協働で開発し、活用している。

〒116-0014

東京都荒川区東日暮里6-40-22

電話：03-3805-5548

E-mail：littlebees@littlebeesinternational.org

HP：https://www.littlebeesinternational.org/

